

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

× 途中のチェックを怠ってもうまくいくと思うのは誤解だ！

「やり直し」は、利益を失う大きな原因になっていることは言うまでもない。できる人ほど、途中の進行度合いのチェックを怠らない。最初の考え通りに、円滑に進む仕事は少なくないことを知っているからだ。自分ひとりでやっている仕事ではなく、相手に依頼している仕事であれば、特に注意が必要だ。途中の進行度合いのチェックをしておかなかったために、「すみません。まだ出来なくて…」 「このやり方でいいと思っていたのですが、間違っているのですか？」と後になって謝られても取り返しが付かない。たとえ、打ち合わせ内容に誤解があった場合でも、こまめにチェックを入れていれば、いくらでも修正ができる。特に、安易に仕事をするタイプの人と一緒に仕事を進めるときは要注意だ。

※ 途中チェックからヒントが生まれる

クレームの原因のほとんどは、途中の進行度合いのチェックを怠ることから発生している。誰が問題を起こしているものでもない。チェックを入れない自分が問題を起こしているのだ。しかし、ここで断っておきたいことだがある。それは、チェックは相手の粗探しではない、ということだ。あくまでも、自分との考えのすり合わせの場と位置づける。企画や想像力を必要とするクリエイティブな仕事では、他の方向から進めていた案から素晴らしいヒントが生まれるということも、ままあるからだ。

※ 途中の進行度合いのチェックのポイント

- ・ チェックの日を決めておく
いつまでどこまでの計画を立てる
- ・ 少しも疑問も残さない
心配な箇所は納得するまで聞くこと
- ・ 予定と対比させる
遅い場合はその原因を確認しあう
- ・ 未達成に妥協するな
できていない理由に安易に妥協しない
- ・ 具体的な指示をする
具体的とスケジュールの確認をする

1) クレームの原因は、何を怠るとおきますか？

()

2) 進行度合いのチェックポイント5つ書いてください

() () ()

() ()